

テンプル大学ジャパンキャンパスが 米国議会研究グループの議員団と 日本の大学生との対話の場を提供



日米タウンホールの模様（2月19日 於：TUJ）

テンプル大学ジャパンキャンパス（東京都港区／学長 ブルース・ストロナク／TUJ）は2月19日、米国議会日本研究グループの議員団を、安倍協力と米国大統領選について語る日米タウンホールミーティングに迎えました。本イベントは、安倍首相への表敬訪問なども含む議員団の第3回年次研修ツアー（2月13日～20日）の一部として企画されたものです。議員団にとって、学生・教職員を交えたタウンホール形式のイベントを日本で開催するのは今回が初めてで、TUJは日本にある米国大学として、学内だけでなく他大学の学生や教職員にも米国の政治家と交流する機会を提供することとなりました。

米国議会日本研究グループの共同議長を務めるダイアナ・デゲット、ビリー・ロング両下院議員のほか、5名の下院議員がパネリストとして登壇し、安倍協力や米国大統領選について熱い議論を交わしました。洞察力溢れる活発な質問や問題提起、コメントがなされ、議員団と参加者の間で関連な意見交換が繰り広げられました。セッションでは、女性の政治参加についてや今夏選挙キャンペーンでのインターンシップの可能性、また、日米同盟をふまえた集团的自衛権における沖縄の役割などが話題にのぼりました。タウンホールミーティングには TUJ のほかに、昭和女子大学、上智大学、東京大学、東洋大学から参加者が来場しました。

テンプル大学ジャパンキャンパス（TUJ） <http://www.tuj.ac.jp/>

米国ペンシルベニア州フィラデルフィアにあるテンプル大学の日本校で、1982年に東京で開校しました。外国大学の分校として日本で最も長い歴史と最大の規模を誇り、2005年には文部科学省から外国大学の日本校として初めて指定を受けました。米国式カリキュラムに基づき、大学学部課程、大学院課程（教育学修士・博士課程、ロースクール、エグゼクティブ MBA プログラム）、アカデミック・イングリッシュ・プログラム、生涯教育プログラム、企業内教育プログラムの7つの課程で、世界約60か国から約3,000名が学んでいます。

<本件取材に関するお問い合わせ>

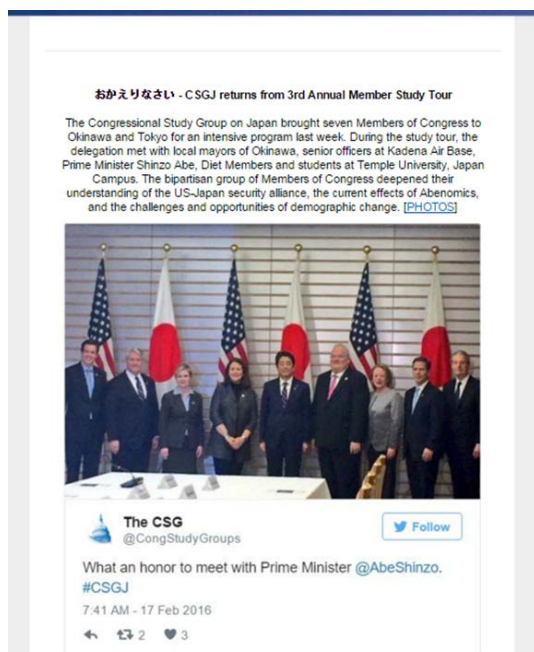
テンプル大学ジャパンキャンパス 広報・マーケティングサポート部 広報担当：三田

電話：03-5441-9801 メール：tujpr@tuj.temple.edu

米国議会日本研究グループ (CSGJ)

2016年議員団メンバー

- ・ ダイアナ・デゲット下院議員 (民主党・コロラド州) - CSGJ 共同議長
- ・ ビリー・ロング下院議員 (共和党・ミズーリ州) - CSGJ 共同議長
- ・ マーシャ・ブラックバーン下院議員 (共和党・テネシー州)
- ・ ボブ・ドルド下院議員 (共和党・イリノイ州)
- ・ エヴァン・ジェンキンス下院議員 (共和党・ウェストバージニア州)
- ・ デニス・ロス下院議員 (共和党・フロリダ州)
- ・ ニキ・ソングス下院議員 (民主党・マサチューセッツ州)



** 議員団の TUJ 訪問は 2 月 24 日付 "InBrief: The Congressional Study Groups" (隔週発行ミニニュースレター) で紹介されました。

【添付資料】 議員団メンバー略歴

<本件取材に関するお問い合わせ>

テンプル大学ジャパンキャンパス 広報・マーケティングサポート部 広報担当：三田

電話：03-5441-9801 メール：tujpr@tuj.temple.edu